

【解答への手引き（テーマ説明文）】

今回の話題は、労働力人口が減少する中、人材の多様性を促す環境整備に向けた、働き方改革についてです。働き方改革と言えば、過労死ラインを参照しながら、残業時間を具体的に意識することで様々な側面が出てくるテーマですが、一部専門職などのための「高度プロフェSSIONAL制度」や、退勤時刻から翌日の始業時間までに一定の休憩時間を設ける「インターバル制度」など、勤怠管理をめぐる議題は尽きません。

英文は就労時間をめぐる用語などが多少出てきますが、語注を活用して読み進めれば、それほど難易度は高くないはずです。内容確認問題では言及箇所の前後を丁寧におさえていくのが正解へのカギとなります。

【解答】

問1 ① ウ ② ウ ③ ア ④ イ

問2 (A) イ (B) エ (C) イ (D) エ

問3 第3番目: it 第6番目: both

問4 ア

問5 職種が増える中、企画・開発のように就業時間数と成果とが直接一致しないものがある。

問6 イ

【設問解説】

問1 語句問題。下線部の語の訳にふさわしい日本語を選ぶ問題です。いずれも、文脈により日本語訳が変わるタイプの単語なので、原文のニュアンスを汲み取れるかが問われます。

- ① 正解はウです。case は「事例、状況」などを表す名詞です。本文では a critical point for determining cases of death from overwork とあることから、「過労死の事例」と考えるのが適切です。
- ② 正解はウです。management は「管理、経営学」などを表す名詞です。ここでは「長時間労働に頼る管理実践と一線を画する」の意味を表しています。
- ③ 正解はアです。term は「条件、期間」などを表す名詞です。ここでは business terms で「取引（交換）条件」を表し、複数形で用いるのが一般的です。
- ④ 正解はイです。oblige は「義務づける、願いに応じる」などを表す動詞です。The laws also oblige companies とあり、文脈から「恩義を施す」「願いに応じる」だと不適切です。

問2 空所補充問題。文脈に合わせて、空所に適した語を選択する問題です。

- (A) 正解はイです。without ~ing で、「～しないで」の意味の表現です。

- (B) 正解はエです。meet a deadline で「期限に間に合わせる」を表す熟語です。
- (C) 正解はイです。空所の目的語に employees healthy and boosting their motivation とあり、文意として keeping <keep ~ (〈人・ものが〉(ある状態に) 保ち続ける) が相応しいと考えられます。
- (D) 正解はエです。exempt from ~ 「~を免除される」の意味を表す熟語です。

問3 語句整序問題。正しく並べ替えた英文は、(The common practice of working long hours) has made it difficult to handle both work (and child-rearing...)です。長時間労働の常態化が仕事(work)と子育て(child-rearing)や介護(nursing care)との両立を難しくしてきた、といった文意が表せれば正解となります。ポイントは make it difficult to V の形の形式目的語。そして、both A and B の形で「仕事と子育てや介護の両立」を表すという点です。文の構成要素の関係性を普段からしっかり見極めながら文章を読むようにしましょう。

問4 内容把握問題。正解はアです。いわゆる「過労死ライン」とは、本文にもある通り、残業の上限を指標として示すものです。これは臨時の業務量増大に配慮するためのもので、上限目一杯まで残業しても良いという意味ではない、と下線部(2)の前後に書かれています。下線部(2)の This が指すのは、「このような働き方改革関連法に示される残業の上限が、過労死ラインに基づいて設定された」という内容です。以上から、正しい選択肢はアの「過労死ラインは残業の上限を決めるものである」と分かります。

<その他の選択肢>

- (イ) 過労死ラインは、長時間労働が死亡原因であったかどうかを決定するのに用いられる
- (ウ) 過労死ラインは、慎重な分析と考察に基づいて規定されている
- (エ) 過労死ラインは、臨時の業務量増大を否定するものと考えられている

問5 下線部和訳問題。前置詞の修飾句から始まる文のため、主語をきちんと特定する必要があります。前半 In から work、まではすべて修飾句、hours が S で do not correspond が V となります。「時間と成果の間に直接の相関性がない」というのがこの文の根幹になります。そこに in an increasing numbers of jobs...and development work が「企画・開発などの仕事が増えていく中」という修飾句として働きます。以上を文脈に合わせてまとめると、「職種が増える中、企画・開発のように就業時間数と成果とが直接一致しないものがある」といった和訳になります。

問6 内容把握問題。各選択肢の文内容を正しく捉え、本文中のどこに言及があるのかを確かめながら適切な答えを選ぶ問題です。

- (ア) 誤り：本文第1パラグラフ参照。選択肢とはまったく反対の内容で、「長時間労働の慣行を改め、多様な人材が活躍できる環境を整えることが急務だ」とあります。
- (イ) 正解：本文第3パラグラフ参照。「働き手の多様化により企業の創造性が拡大する」と述べられています。
- (ウ) 誤り：本文第9パラグラフ参照。「高度プロフェッショナル制度」は、一部の高所得の専門職を労働時間の規制対象外とするものと述べられています。
- (エ) 誤り：本文第12パラグラフ参照。「2020年度以降、新たな残業規制が適用される」と述べられています。

<各選択肢の和訳>

- (ア) 社会的に急務である要件の一つは、長時間労働を慣習化させることである。
- (イ) 働き手の多様性は、企業の創造性の向上につながる。
- (ウ) 「高度プロフェッショナル制度」の仕組みは、労働時間規制に否定されている。
- (エ) 2020年度までに、新たな残業規制は打ち切られる。